

# 薬と飲食物

薬によっては、食べ物や飲み物の影響を受けて、効きめが弱くなったり、逆に強くなったりするものがあります。神経質になる必要はありませんが、これらの食べ物や飲み物を多量に摂取しないように気を付けましょう。薬に影響を及ぼす代表的な飲食物を以下に示しましたので参考にしてください。

## ☆お酒（アルコール類）



薬の作用にアルコールの作用が加わって、精神安定剤や睡眠剤の効きめが強くなりすぎる。また、血圧を下げる薬でも同様に効きめが強くなりすぎる。

## ☆グレープフルーツ

グレープフルーツに含まれる成分が薬を分解する働きを抑えるため、血圧を下げる薬（トワラート、スプレンジール、パイロテンシン、カルスロット、コニール等）や精神安定剤（テグレートール、オーラップ）の効きめが強くなりすぎる。



## ☆コーヒー、紅茶

コーヒー・紅茶はカフェインを多く含んでおり、気管支拡張作用があるため、気管支拡張剤（テオドール）の効きめが強くなりすぎる。

## ☆牛乳



牛乳に含まれる成分が抗菌剤（クラビット、スパラ、ミノトワ等）と結合するため、薬の効きめが弱まる。

## ☆紅茶、ウーロン茶、緑茶、コーラ



リスパダール液をこれらの飲料に混ぜると、薬の成分が分解して効きめが弱まる。

## ☆ミネラルウォーター、水道水（煮沸していないもの）、紅茶、ウーロン茶、緑茶、

## 玄米茶、味噌汁等

エビリファイ内用液をこれらの飲料に混ぜると、効きめが弱まる。

薬はジュースや牛乳等で飲んだりせず、水またはぬるま湯で服用するように心がけましょう。